

町内3カ所で開催した「町民と議会の懇談会」でいただきましたご質問  
やご意見・ご要望について、回答をまとめましたのでご報告します

令和5年度 遊佐町議会  
「町民と議会の懇談会」  
報告書

【日時・場所】

令和5年10月21日(土)午後1時30分より  
第一会場：蕨岡まちづくりセンター  
第二会場：吹浦防災センター

令和5年11月4日(土)午後1時30分より  
第三会場：西遊佐まちづくりセンター

【参加者数】

○蕨岡まちづくりセンター	(A班)
17名	【P1～】
○吹浦防災センター	(B班)
12名	【P6～】
○西遊佐まちづくりセンター	(C班)
20名	【P11～】
計	49名

## 町民と議会の懇談会

### 【会場及び班体制】

令和5年 10月21日(土)	13:30～	蕨岡まちづくりセンター	A 班
	13:30～	吹浦防災センター	B 班
令和5年 11月4日(土)	13:30～	西遊佐まちづくりセンター	C 班

A 班 蕨岡まちづくりセンター		B 班 吹浦防災センター		C 班 西遊佐まちづくりセンター	
役割	氏 名	役割	氏 名	役割	氏 名
班長	斎藤 弥志夫	班長	—	班長	松永 裕美
進行	斎藤 弥志夫	進行	那須 正幸	進行	今野 博義
報告	高橋 冠治 松永 裕美	報告	渋谷 敏	報告	高橋 冠治 今野 博義
記録	駒井 江美子	記録	本間 知広	記録	菅原 和幸
				受付	齋藤 武 佐藤 俊太郎

※高橋議長…議長あいさつのため各班を訪問

### 【テーマ】

- ・ゼロカーボンシティ宣言
- ・これからの地域づくり
- ・検証 小学校統合
- ・洋上風力発電
- ・その他

# 令和5年度 町民と議会の懇談会報告書

第A班

開催日時	令和5年10月21日(土) 午後1時30分～3時36分
開催場所	蕨岡まちづくりセンター
主な出席者と 参加人数	蕨岡まちづくり協会 会長 齋藤 司氏 ほか16名
議会側	班長 齋藤 弥志夫
	進行 齋藤 弥志夫
	報告 高橋 冠治、松永 裕美
	記録 駒井 江美子
話し合い内容(要点筆記)	
<p>最初に質問回数についての質問。                  質問/ 一昨年、昨年で質問できる数が違った。今年はどうなのか?                  (回答) 基本的に一問。時間があるときは追加で可能。</p> <p>=ゼロカーボンシティ宣言=                  質問・意見なし</p> <p>=これからの地域づくり=                  =配布資料にある文言について=                  質問/ 提言素案にある「旧校舎の利活用のスピード感」という言葉に対して。                  小学校統合とその後の蕨岡まちづくりセンターの移転は決まっていたことだが、閉校してから早くても3年たってやっと移転となる。移転先での講堂や会議室の確保などが現実では難しいと後からわかるなど、他にやり方がなかったのかと思う。また、統合小学校の受け入れ体制についても1年生のトイレが和式のまま、バス停やバス路線など、対応が後手になっている印象。今後のこともあるので、今のやり方について何とかしてほしい。</p> <p>(回答) 持ち帰って執行部と協議して回答させていただく。</p> <p>質問/ 「学校の統合が地域力の低下している」「高齢化が加速している」                  駅前一区にはあてはまらない。入れないほうが良かったのでは?</p> <p>(回答) 立派な神輿もあり、夏祭りも盛んでうらやましい。この文言については将来的な一般論になる。駅前一区をいい事例として吸収していきたい。子どもがいないのであれば、自分たちが動いていくなどやり方を考えてやっていく必要がある。</p>	

=人口減少、子どもの地域行事参加について=

質問/ 地域の環境整備や除雪対策など人数がいたときには、なんとかなったことでも少子高齢化でできなくなっている。地区の人の足となる交通事情、高齢者子どもの居場所なども含め地域活動ができるような予算配分にしてほしい。

学校統合のため、子どもたちが主体となったまちセンの事業や地域活動に参加するのが難しくなった。子どもたちを地域活動に参加させられるような窓口調整組織を作してほしい。

(回答) 婦人会などの活動がなくなり、活動が狭くなっている印象はある。敬老会を西遊佐では遊樂里に会場を移したので地区の婦人会の手を借りず、涼しい場所でやれるようになった。

(回答) 住民の足については、タウンバスの整備やワンコインでどこでも行けるようなことを整備する必要があると考える。知恵を絞りながら対応していきたい。

=クマ対策について=

質問/ 杉沢地区の栗畑にクマが3日続けてきたため、持ち主が役場にオリ設置をお願いした。しかし、捕獲上限になったので捕獲できないと言われたとのこと。いろいろな事情があると思うが、柔軟な対応をお願いしたい。

(回答) 捕獲規制があるとは聞いていない。クマの命とヒトの命とどちらが大事なのかと考える必要がある。町や県に働きかけていく。

=検証 統合小学校=

=バスの待合所、通学路について=

質問/ 平津、鹿野沢にバス待合所がない。冬場に何も無いところに待たせておけるのか。バスの待合所を作れるところは作ったほうがいい。また、上長橋から小学校とは反対方向の上小松まで歩かなければならない。統合前からバス停や通学路については、話を出していたが、結果的に何も変わっていない。不満について、住民側が合併したからしょうがないと言うのを待っている状況に思える。

(回答) バス停の課題は、永遠の課題かと思う。教育委員会は、状況を把握して今後どうするかはこれからのようだ。昔は、歩いていたことや、歩いて通学している児童たちのことを考えると塩梅が難しい。バス停については、今後の児童数なども考慮して変わっていくと思う。

通学路となっている上小松の横断歩道の仮看板については、看板の高さが低いため大型トラックからは気づかずどんどん通過する状況を教育委員会に知らせた。通学路についてはまだいろいろ課題があると思うので、皆さんの声を町に伝

えてほしい。

=長期休暇の過ごし方について=

意見/ プールについては、昨年の統合小学校の説明で、33 度以上になると中止になると聞いた。民間の施設などを利用してできないものかという意見がでていた。

=遊佐沖洋上風力発電=

=遊佐に入ってくる固定資産税について=

質問/ 固定資産税について質問されていたが、金額については知っているのか？  
R4 年度の町政座談会で固定資産税の額について、町民課長が額を説明していたか記録は見たか？

(回答)「海に何の権限もない」という発言に対して、どうして固定資産税は入ってくるのかという意味で一般質問した。金額、記録については承知していない。

(回答) 前の町民課長の説明を聞いて、30~40 基建つ場合固定資産税の試算は、1 年に 1 億円と聞いている。

=事業者からの拠出金について=

質問/ 事業者が決定した後、地元に対して拠出金の金額について議会で検討しているのか？今年の町政座談会で金額は、明確に課長が述べている。

(回答) 議会が検討するものではなく、国との約束事によると思う。細かい金額は承知していないが、100Kw あたりいくら拠出されるということは理解している。

=健康被害について=

質問/ 洋上風力発電の健康被害について各議員がどう考えているのか知りたい。  
法定協議会で健康被害について語られていることを聞いたことがない。  
もっと健康被害について話題に出してほしい。遊佐の中高生や、少年議会な意見をもっとくみ上げてほしい。

(回答) 国はメリットだけを伝えるばかりで、他の事業で国の対応を見ていると健康被害について本当に大丈夫なのかと不安を強く感じている。

(回答) ネットでは、低周波の健康被害は、世界的に確認された事例はほとんどないということだった。いかにも遊佐で健康被害が及ぶというような考えはどうか。明確に証拠もないので、海に建っている風車が低周波被害を発生させるかどうかについては疑問だ。

(回答) 40 年前に役場前の道路工事の音が切ないと当時病気の母が訴えてい

た。自分は役場がやっていることだから我慢してと伝えた。身近な人間がそのような健康被害に遭ったらどんな想いだろうと想像する。将来の子どもたちのために、何ができるのかを考えると、地域活性化のために洋上風力以外に代案があれば教えてほしい。

意見／小水力発電がいいと思う。風力発電の電力は都会に送られる。停電になっても遊佐町では使えないなら何のための電力なのか。

風車が建っていなかったときはなんでもなかったのに、風車が建ってから体調が悪くなったらそれは、風車が原因ではないか？

陸上風力で、道路を広げてもらったり、窓を二重にしてもらったり、冷暖房を入れてもらったりと良くしてもらったりしているから何も言えないという方が比子にいた。

(回答) 逆に質問してしまい申し訳ない。

健康被害については皆さん心配されているのは承知している。健康被害については科学的に証明されていないので、議員にいいとか悪いとか聞かれても答えようがないことを理解してほしい。

SDG s や 2050 年問題などあるが、その中でどのような政策がいいのか。原油は高騰しているため、まわりまわって私たちの日常生活に影響してくる。相対的に考える必要がある。健康被害について心配する人がいて当然だ。

法定協議会でも電波障害について何かあったときには業者が対応するという文言もある。

意見/ 健康被害については、起きる可能性があるという前提で動いていく必要があると思う。

(回答) 洋上風力が建つことによってどのような変化が起きているのか注目している。秋田の能代へ視察に行ったが、いろいろプラスの効果が出ている。市役所の人たちもかなり前向きにとらえていた。

意見／ 風力や太陽光発電は天気次第。発電できないときは、火力発電が補っている。どのくらいCO2削減になっているか疑問だ。再エネ賦課金で再エネ発電はまかなっている。市場価格との差が小さくなっている。再エネが増えれば増えるほど再エネ賦課金が高くなるので電気料金が安くなることはない。代替エネルギーということだが、エネルギー戦略を見直す必要がある。地域密着型のものを使う必要があると思う。都市でも発電できるような技術革新が必要だと思う。

発電でなく、省エネ、同じ再エネでも熱利用についても活用すべきだと思う。洋上風力発電が再エネの切り札と言われているが、それは違うのではないかと思う。

=その他=

=予算について=

質問／ 遊佐町は住民に対して予算の事業別を公表していない。

去年、今年と町長に質問したが、入札に影響を与えるために、住民に何をやっているか公表できないと言われた。

議会の皆さんは、本当にすべての事業を知っているか？

(回答) どの程度注目しているかは別にしてもどうしているかチェックをしている。予算書に載っているものが、決算書に載っているので、見なおす形で目をほとんど通している。細かい1万円未満のものについても目を通している。議員はそれぞれ常任委員会や議会で質問している。行政報告書も目を通している。

(回答) 常任委員会2つで、細かいところまで予算などを確認している。説明に「等」があって、その中に細かく入っている。すべてわかっているかと問われるとすべてはわかっていない。気になったことをチェックするのが我々の仕事だ。議員だけで改革はできないので、皆さんからお力、お知恵をお借りしていきたい。このような意見をどんどんいただきたい。

(回答) すべて公表されていないということなので、私も承知していない。すべて開示してもらおうようにしていきたい。

(回答) そんな数の事業数があったことを今日初めて知った。

質問／ 全部の事業が見られるのは遊佐町では3人しかいないと元教育課長から聞いた。やっぱり開示するべきだと思う。同じ事業名で金額が違う。その一覧表を役場に送った。主要施策と一般当初予算違うことがあってはならないと指摘しているが、町から返答がない。

(回答) 主要施策、進行施策の中にはりつけていく。形成配分をするときがあり、予算が変わってくる。PATも同様だ。土地購入などに時間がかかる。計画通りいけば問題ないのだが、予算も生き物なので、計画通りに行かないこともある。

意見／ 少子化問題には予算が重要だと思っているので意見している。ここに若者たちがいっぱい来て、私たちに税金を使ってほしいと言ってほしいと思っている。

## 令和 5 年度 町民と議会の懇談会報告書

第 B 班

開催日時	令和 5 年 10 月 21 日（土）午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
開催場所	吹浦防災センター
主な出席者と 参加人数	吹浦地区まちづくり協議会 会長 筒井 義昭氏 ほか 11 名 議長挨拶 （高橋冠治）  参加者代表挨拶（筒井 義昭）
議 会 側	班 長
	進 行 那須 正幸
	報 告 渋谷 敏
	記 録 本間 知広
	受 付 全 員
話し合い内容（要点筆記）	
<p>政策提言に関する意見</p> <p>=テーマ 1 ゼロカーボンシティ宣言=</p> <p>質問／ ゼロカーボンとはどういうことか。</p> <p>回答／ 2050 年までに二酸化炭素の排出量を実質「ゼロ」を目指すこと。同じように「カーボンニュートラル」というものもある。どちらも二酸化炭素を出す量と、植物などで吸収する量が差し引きで「ゼロ」になればよい、という意味。</p> <p>質問／ 遊佐町の二酸化炭素の状況は観測されているのか。データを取っておけばこれからの取り組みに役立つと思うが。</p> <p>回答／ 現状でそういったものの具体的なデータは出されていない状況である（町の総面積 208.39 km<sup>2</sup>・山林面積 33.60 km<sup>2</sup>）。現段階でわかっていることは、町民一人当たりの二酸化炭素の排出量が 5.9 t、農業活動におけるメタンの排出がどのくらいなのか、ということくらいである。今後より詳細なデータが出てくるものと認識している。</p> <p>補足／ 町の公用車で電気自動車を導入予定。また、これまでの取り組みとしてゴーヤのグリーンカーテンやクールビズなども行っている。今後、温室効果ガス等の詳しいデータが出てくると思うが、より分かりやすい資料になる</p>	

よう担当課にお願いしていく。

要望／ 遊佐町は森林が多い。温室効果ガスの吸収源維持の観点から、林業の振興は重要である。合わせて鳥獣対策としても、特に住居近辺の伐採などは効果があると思うので、今後も林業の振興に力を入れてもらいたい。

回答／ 遊佐町で一番クマが出没しているのは吹浦地区である。小野曾地内ではイノシシの被害も出ている。町でも対応はしているが、やはり音を出す、家に鍵をかけるなど、個々に気を付けることも重要だと考える。引き続き行政にも意見を述べていく。

回答／ 切るところは切る、残すところは残す、という考え方で、境界線的なものを作ることができればということを考えている。

回答／ これまでの回答と同様に鳥獣被害は広がっているので、行政に話をしていきたい。

## =テーマ2 これからの地域づくり=

要望／ 既存の団体がなくなっていくなど、今まであてにしていたものがなくなって困っている。今後の活動をどうしていくか、新しいシステムを考えていかなければならない。そのための予算取りも含めて考えてもらいたい。

回答／ 問題のとらえ方を工夫することで何に困っているのかを明確にしていけば、地域で関わる人が増えていくのではないか。

意見／ 人口減少の中でどうやって地域を維持していくか。これが大変苦勞していること。やらなければならないことはわかっているが、どう取り組んでいけばいいのか。今後も話をしていかなければならないと思う。

回答／ リーダーがいなくなって集まれなくなり、地域で何を困っているのかわからなくなっているのではないか。今後起こりうる課題も含めて話をしていくことが大切ではないか。

質問／ まちづくり条例は、作った当時の状況がそのままになっているところが多い。特に職員処遇の部分はなんとかできないものかと思っている。そのあ

たりの認識を伺う。

回答／ 他の議員からも一般質問などでそういう話は出ていた。処遇に関しては特別休暇など労働条件の整備がなっていない部分がある。認識できなかったことに落ち度があったと反省している。基本的に人件費は安いと思っている。最低賃金が上がったりするなど生活環境も変化しているので、議会としても要望をしていきたいと思っている。

回答／ 改善するよう話をしていく。

意見／ 各まち協で待遇改善を目指し、会計年度任用職員の労働環境を目標に就業規則の統一化を目指し取り組んでいる。

意見／ 就業規則に関して、各まち協足並みを揃えることで一致している。

要望／ 予算額に壁がある。ぜひこれを突破できるようお願いしたい。

### =テーマ3 検証 小学校統合=

要望／ 吹浦地区では小学校の利活用で協議会を立ち上げ、町長に意見書を提出している。十分加味されることを望む。

質問／ 提言素案の「地区での児童の居場所確保」とはどういったことを想定しているのか。吹浦・高瀬地区は放課後子ども教室で長期休暇に対応できない状況である。この素案の意味は放課後子ども教室で対応すべき、ということでの文言なのか危惧したので確認したい。

回答／ 決してそういうことではない。新校が開校してからどのような状況なのか、という話しの中で、夏休みにプールにも入れなくて子どもたちはどうしているのか、ということから今後の課題として提言素案に挙げさせてもらったものである。

要望／ 放課後の子どもの居場所を考える会で教育課と健康福祉課と連携して検討してくれている。ぜひ議会も加わってこの課題も含め改善に向うよう努力して行ってほしい。

要望／ バス停で街灯がないところがる。子どもたちの安全を考えれば明るさは必要である。設置に向けて検討してもらいたい。

回答／ 「太陽光パネルがついた街灯の設置を」という要望は一般質問でもしてきたところである。引き続き子どもたちの安全を守るためによりしくお願いしたい。

要望／ 各地区の空き校舎の利活用について今後も議会としてしっかり質問等取り組んでもらいたい。

#### =テーマ4 洋上風力発電=

要望／ 促進区域になりここまで来てしまったか、という思い。今後秋田県で先行して事業が行われる。その動向を確認し何かあれば、町長に「待った」をかけられるよう議会にお願いしたい。

回答／ 能代に視察に行ってきた。事業者が宿泊する影響で市内3つあるホテルが足りない状態である。観光で来られた方々が泊まることができない。経済効果で言えば事業によって恩恵を受ける、受けない、そういうこともあると思うし、まだ末端までいきわたっていない印象である。そういったことも含めて素案にある「事業者を厳しく見極める」ことも大切であると思っている。

意見／ 素案について、書いてあることはもともとだが、促進区域を指定したのは事業者ではない。その区域で事業を行うにあたり、環境や健康に何か問題が生じた場合、責任は指定した国・県、それに同意した町にあると考える。「厳しく見極める」のは事業者だけでいいのか、ひっかかる場所である。

回答／ 今頂いたご意見を参考にさせていただく。

回答／ 観光事業の発展の部分でも能代市に関してはまだまだこれからという印象であった。洋上風力に関して、一般質問していないから問題意識を持っていないのではない。いろいろな問題を監視することを怠ってはいけないという認識でいる。

意見／ 日本はヨーロッパに比べて事業として遅れている。風の環境に恵まれてい

るこの地でぜひ進めてもらいたいと思っている。今後の貴重な財源にもなる。

要望／ 酒田港の基地港湾指定に向けて、いまどうなっているのか質問してもらいたい。酒田沖だけでなく、遊佐沖も一緒になれば指定に近づくのではないか。

= その他 =

基幹産業である農業政策の充実を。  
観光振興のために張り出し歩道の整備を。  
道の駅が新しくなる。町にとって大きな事業。農業・観光政策にしっかり取り組み、いい道の駅になるよう頑張ってもらいたい。

回答／ 農業に関して、国策としての農業政策の充実を、という講演を昨日受けてきた。我々もそういう発信をしていかなければならないと感じている。

回答／ 観光に関して、「新・道の駅」の事業者がいよいよ今年中に決定する予定。これほどのロケーションがいい道の駅はないと思う。来てくれた方々が喜んでもらえるよう、地域に波及効果が出せるようしっかり取り組んでいかなければならないと思っている。

要望／ 「新・道の駅」の動向がなかなかよくわからない。議会としてもアンテナを張って情報収集に努めてもらいたい。

回答／ 事業者が決まらないと話が進まない印象。引き続き情報収集に努める。

意見／ 蓋を開けたら何もかも決まっていた、ということになることが心配なので意見を述べた。

回答／ そうならないよう、話をしていきたい。

# 令和5年度 町民と議会の懇談会報告書

第C班

開催日時	令和5年11月4日(土) 午後1時30分～3時51分
開催場所	西遊佐まちづくりセンター
主な出席者と 参加人数	西遊佐まちづくりの会 会長 伊藤新一氏 ほか19名
議会側	班長 松永 裕美
	進行 今野 博義
	報告 高橋 冠治 今野 博義
	記録 菅原 和幸
	受付 齋藤 武 佐藤俊太郎
話し合い内容(要点筆記)	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">令和4年度政策提言に対する施策への反映状況</div> <p>質問／なし</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">テーマ1) ゼロカーボンシティ宣言</div> <p>要望／地球温暖化による気象変動への影響で始まる今回の資料は、まったくその通りである。カーボンニュートラルについては、色々な課題や問題点があるし、これからも出ると考える。テーマが大きいだけに、町も目標に向け県や国から回答をいただきながら、丁寧に進めていただきたい。</p> <p>要望／宣言の内容が具体的に示されていない。他の市町村では住宅リフォーム、CO<sub>2</sub>を削減するためのゴミ処理に関するパンフレット作成などの取り組みを行っている。大きなテーマでは町民は尻込みしてしまうので、町民が小さなことから取り組めるような計画を今後進められるよう、提言していただきたい。</p> <p>=補助金の制度について=                  質問／遊佐に移住し感じたことに、風が強いことがある。家庭用の風力発電に対する助成があればありがたい。しかし、資料などを見ても助成制度はないようである。助成はできないのか。                  (回答) 町は、平成25年に策定した環境基本計画で「低炭素社会」を謳い、現在に至っている。家庭用風力発電の場合は、蓄電施設とセットであれば効果があると考え。助成制度については、所管課に確認する。</p>	

＝現行事業との調整について＝

質問／ゼロカーボンシティ宣言した市町村では、地域政策編と事務事業編で基本計画を策定している。遊佐町はLAS-Eを行っておりその基準がないことから、事務事業編と地域政策編でやっていただきたいと、所管課に話をしたが、しない方向にある。

2019年の遊佐町のCO<sub>2</sub>排出量は8万トンである。それをゼロにするのがゼロカーボン宣言であり、どのようにしてゼロにするかである。

(回答) LAS-Eについては、他のマネジメントシステムISO14001に傾いたこともある。町はこの5月にゼロカーボンを宣言した。

環境省は、脱炭素先行地域を選定し支援している。議会としても、町がどのように考え進めようとしているかなど、新たなスタート点に立ち対応していきたい。

## テーマ2) これからの地域づくり

＝移住定住施策について＝

意見／遊佐町への移住者は、高齢の方が多いと思う。その移住者の家族を取り込むことも、移住者の拡がりに繋がるのではないか。若い人達が遊佐町を訪れ感じることで、ここに住みたいという気持ちになるのでは。

そのために、移住者の家族が楽に来町されるような、宿泊施設(しらい自然館)の利用割引もあってもいいのではないか。

また、移住者の年代の実態などをデータ化し、公表していただきたい。

＝遊佐町の歴史を地域づくりに反映＝

質問／遊佐の歩みや歴史が見られる施設がない。四大祭の案内、偉人の紹介、遺物の展示を一カ所にまとめれば、見学者も増え観光にも繋がるのではないか。

令和6年は遊佐町合併70周年でもある。是非、歴史資料館みたいな施設を造るよう検討願いたい。

(回答) 歴史資料館的なものについては、町政座談会などでも提案があった。このことに関しては、旧吹浦小学校を展示館とする利活用計画があると認識しており、今後具体的に詰めていくものと理解している。また、小山崎遺跡や丸池様と旧吹浦小学校を結ぶ動線の整備等の要望活動を行っている。

## テーマ3) 検証 小学校統合

＝公共施設の老朽化に関連すること＝

質問／トレーニングセンターの雨漏りがすごい状況にある。新しくトレーニングセンターを建てるか、旧小学校の体育館などに移転することはできないのか。

(回答) 持ち帰り所管課に繋ぎさせていただく。

=小学校と地域の連携について=

意見／小学校が1校になり、それまでの登校隊からスクールバスでの通学になった。それに合わせ西遊佐地区では、登校隊に携わってきた見守り隊の方々の考え方を伺った。バス通学に変わるのであれば見守り隊から卒業したい、辞めたいとの意見が多かった。

保護者の方々とも相談したところ、今まで見守り隊の皆さんに丸投げし、お世話になっていたと保護者の反応も協力的であった。それらを踏まえ、各バス停に誰が付くとかを決め、教育委員会にも上げている。

課題の解決にはどうすればいいのかを皆で考え、対応していく。それが町づくりにも繋がるのではないかと。議会からも、密度のある連携ができるような体制が築けるよう努力していただきたい。

=スクールバスの乗降の安全確保について=

意見①／国道、県道、町道を含め除雪車が通過した際、バス停の付近に雪が置かれており、子ども達が車道に出る形で待っている。児童、生徒たちが安全に乗り降りできるよう提言していただきたい。

除雪のあとの排雪など、議員の皆さんから全地域を見て頂き、町への提言をお願いしたい。

意見②／バス停付近の軒先にカーポートなどある場合、子ども達のためなら協力してくれる方々も多数いると思う。天候状況による雨宿りの場としていて検討できないか。

意見③／教育委員会は、117箇所のバス停をすべて確認したとのこと。子ども達の安全を守るのが自分達の役目でもあるので、安全パトロールを行っている。何故ここにバス停があるのか、と感ずることがある。バス停の点検や見直しを再度お願いしたい。

(回答) 小学校統合後、初めての冬となる。点検結果がどうであったかを含め、意見を持ち帰りさせて頂く。

=藤崎小学校の校舎利用に関する議案の修正の経過について=

質問／9月議会の議案で、餅加工場として利用する予算が削除された修正案が、可決された。生活クラブ連合会との信頼関係があつての事業だと思う。今後、生活クラブ連合会との関係に支障はないのか。

(回答) 共同宣言の推進事業に関連する補正内容であった。質疑での答弁は、運営者予定者は第三者の事業者とのことであった。町の資産を一事業者に貸すにあたっては、事業者及び事業計画が明確されて然るべきである。また、提案あった補正内容で済むのかを質問したが、明確な回答がなかった。(質疑を行った議員による説明)

#### テーマ4) 洋上風力発電

要望／遊佐町の将来を考えたとき、カーボンニュートラルと洋上風力発電事業は、イコールのように受け止める。洋上風力発電事業に進出したいとの声が企業から伝わってきている。そのことを否定するものではないと思う。

遊佐町や子ども達の将来を念頭に置き、今後どうあるべきかを、子ども達と真剣に考えていく必要があると考えるので、議会も協力して頂きたい。

＝洋上風力発電事業での地域貢献と税収について＝

質問／遊佐沖で洋上風力発電事業が行われる場合、事業者の地域貢献について議会へ説明はあるのか。また、昨年度の町政座談会で、固定資産税の試算の説明がされていたが。

(回答) 事業者が決定していないので、具体的なことは決まっていない。

＝議会の調査特別委員会について＝

質問／議会では、洋上風力発電に関する特別委員会を設置し現在に至っている。特別委員会では、どうゆう活動をしてきたのか

(回答) 議員のなかにも色々な考え方があり、どのような議論を行えばいいのか苦慮した。酒田共同火力発電所の視察、酒田市議会との意見交換なども行った。活動についてはまだ十分でないとの認識をもっており、今後も幅広く議論していく必要があると考える。

意見／ 先日、エネルギーに関する意見交換会に出席した際、若い人達が参加していた。町政座談会や議会との懇談会には、若い人は誰も来ない。若い人の意見がまったくない遊佐町でないか。若い人達が、洋上風力をどう考えているのか聞く必要もあるのではないか。

<関連発言>

ア) 40歳以下の町民の方々と、議会の懇談会をやったら如何か。

イ) このような会に若い人がいないのは、遊佐町特有の現状かと考える。我々が気づかない意見もあると思う。何が原因なのかを議会の方で探って頂きたい。

(回答) 持ち帰り検討します。

質問／遊佐沖で計画されている計画は、海岸線に住んでいる人は2kmほどしか離れないことになる。はっきり言って自然破壊と思う。遊佐町にとってどのようなメリットがあるのか。なんとなく賛成、反対するのではなく、プラスマイナスを考えての賛成、反対であるべきと思う。

海岸線の人達には、考えがあると思う。風車が影響を与えるのは、海岸線の人達。議会からは、町全体のことを考えて頂ければと思う。

(回答) エネルギー問題を考えるとき、世界情勢を考えないといけない状況である。火力発電では石炭価格が上昇していることもなどもあり、安定的に電力供給できるのは、風力とも言われる。

景観に関する意見もある。鳥海飛島ジオパークは、世界ジオパークの認定を目指しているが、ジオパーク認定には支障がないとのことである。今後も問題点などを話し合い、改善をしていく。

質問／風車がジオパークに関係ないとのことだが、確認されたのか。世界ジオパーク事務局に確認してはどうか。

(回答) 鳥海飛島ジオパーク事務局に確認した。持ち帰らせていただきます。

## その他

質問／遊佐パーキングエリアタウン事業の概算事業費は、議会で分かっているのか。

(回答) 最近、管理運営する事業者が決定した。補助等は確定しておらず、これから明確になる。

意見／議会の議事録作成には3ヶ月ほどかかる。ユーチューブでの配信について議会事務局に確認した。議会ホームページを見ているのは10人ほどのこと。ユーチューブでの配信には70万円ほどを要するとのことらしい。

町民からは、議会に関心をもっていただきたい。

<個別事案について>

ア) 鳥海ブルーラインがかなり傷んでいる。地域生活課にもお願いしたが、確認していただきたい。

イ) 菅里橋付近の県道にガードレールを設置することを、県に繋いでもらいたい。

ウ) 下長橋・千本柳間の町道の防雪柵の現状に関すること。